

団体名 まちの住民館「あかり」(岩国市)

代表者名	大久保 妙子	団体の目的 ・誰もが自分らしく、ほっと出来る居場所であることを基本とし、共生社会の実現を目指し、地域社会に根差した活動を行い、地域コミュニティを構築する。 ・市民活動団体のサポートや団体をつなぎ、更なる活動の活性化を図る。
構成員数	6人	
設立	2018年(H30)年4月	
問い合わせ先	☎0827-31-7483 (村上)	

事業名 まちの住民館「あかり」整備・活用事業～みんなで「環境」と「認知症」について考えてみよう！～

事業の目的

- ・老朽化した空き家に、住民誰もが集い、交流や学習のできるコミュニティスペースとして活用できるよう、地域住民みんなの力で、コミュニティ・福祉・環境の3つの視点からリノベーションする。
- ・誰もが安心して住むことのできる環境づくりの一環として、「人と人をつなぐ」をテーマにしたイベントや認知症カフェを開催する。

事業の内容

- ・環境にやさしいバイオトイレ作りワークショップ
開催日：第1回 6月2日、第2回 8月11日 10:00～15:00
場 所：まちの住民館「あかり」
内 容：第1回（専門講師によるバイオトイレの仕組みについての講義）
第2回（大工職人を講師に迎えバイオトイレづくり）
- ・造ってみるコース eco バック作り
開催日：9月7日 13:00～17:00
場 所：まちの住民館「あかり」
内 容：ステンシルで世界に一つだけのバック作り 参加者：15人

事業の成果

- ・住民参加型のイベントの開催で、仲間づくりの輪をひろげることができた。
- ・災害弱者（高齢者、障がい者等）への理解、社会参加の場づくりができた。

活動現場レポート！ 作ってみるコースecoバック作り〈R1.9.7/まちの住民館「あかり」〉

この日は、環境を考える全3コースの最終回で、柳井市在住の檜垣圭子さんを講師として、型を使ってイラストや文字を布などに絵の具でプリントするステンシルという装飾の方法で、バッグ作り体験が行われました。

参加者は、沢山の型の中から気に入った型を選び、好きな色を使ってバッグにプリントしていました。中には、型をなかなか絞ることができず、両面にプリントしたり、一つの型に数種類の絵の具を使用している子どもも見受けられましたが、全員思い思いの作品が完成し、大変満足そうな様子でした。

バッグ作り終了後には、檜垣さんが描かれた絵本「ひみつの工房」と「ごんたときび」の読み聞かせがあり、実話に基づくお話に参加者は引き込まれている様子でした。



真剣に取り組む参加者



絵の具で色づけ